

資料1 第9期あきる野市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（骨子案）

（ご意見をいただく視点・会議に提示する理由）

- あきる野市の第9期計画の策定に向けた、現時点での骨子案となります。
 - 全体構成に加えて、「将来目標」「基本目標」などについて、ご意見をお聞かせください。
- ※必要に応じて、【参考資料1】基本指針の構成についても参照ください。

【意見】

- 制度の持続性についての方針が欠けている。介護保険料の上昇をゆるやかにすることを明記していただきたい。（大塚委員）
- 第2章第1節「高齢者を取り巻く現状と推移」について…推移の中に「将来予測」も入っていますか？ 計画策定にあたっては、将来の見通しも重要な要素となるので、たとえば「高齢者を取り巻く現状と将来予測」といった形で、今後の予測データを盛り込めたらよいと考えます。（今委員）
- 第3章第1節の1「将来目標」等について…基本的には第8期を踏襲する形となっている（案）のとおりで良いとは思いますが、「自己決定」や「その人らしさ」といった要素を加えることが必要ではないかと考えます。高齢・介護や支援が必要となる前から、「自分らしい生き方」について考え、自己決定の上で生活していく（いける）ことを目標に据えると良いのではないかと考えます。（今委員）
- 介護人材の確保、定着、育成は重要課題の一つといえる。介護福祉の仕事のやりがいや魅力を若い世代に、教育を通して小学低学年からプライドを持てる職業として、もっと推し進めるべきと思う。（秋間委員）

資料2 今後の地域包括支援センターの在り方について

（ご意見をいただく視点・会議に提示する理由）

- 第9期以降（令和6年度以降）の地域包括支援センターの在り方について、資料などを基にご意見をお聞かせください。

【意見】

- プロポーザル審査方式による公募（賛成）
 - ①審査基準を設定し、公表すること
 - ②審査基準の内容に労働管理基準を設定すること
 - ③優良な人材の不足解消の一助になる。（國井委員）
- 包括には3職種があり、包括にしかできない事例が報告されている。要支援者に行う介護支援は既存の資源を利用していただくこと。社協には生活支援コーディネーターがあり、ガイドブックも発行されている。（大塚委員）
- 基本的には、「推進委員会報告書」や「第9期における方向性（案）」の内容で良いと考えます。ただし、職員体制については、各拠点において三職種の複数配置などの充実策を図るべきで、国が検討している「複数拠点で合算しての人員配置」などは、現状や現場の課題に逆行しかねないものと考えます（国の検討案は深刻な人材不足状態での緊急避難的な方策として一時的に取り入れたとしても、常態化すべきではないと考えます）。（今委員）
- 地域包括支援センターにはこれまでの経過の中で様々な業務・役割が加えられてきていますが、業務・役割の整理・明確化が必要な状況であると考えます。（今委員）
- 市内の地域包括支援センターは委託方式となっていますが、業務・役割については保険者が主体的に整理・明確化を図って示すべきであると考えます。（今委員）
- 委託にあたっては、受託法人が中長期的な視野に立って取り組みが進めていけるような条件（期間だけでなく委託料その他も含め）を設定することが必要だと考えます。（今委員）

資料3 総合事業（通所型サービスC）について

（ご意見をいただく視点・会議に提示する理由）

- あきる野市の総合事業に関する資料となります。
- 令和5年度は、通所型サービスCのモデル事業を実施しています。
- これらの総合事業の実施状況に関するご意見、令和6年度以降の総合事業の方向性（案）や課題などについて、ご意見をお聞かせください。

【質問】

- 通所型サービスCの令和3年度実績において、「時間の経過とともにデイサービスの利用が増えている」理由・背景は何が考えられるのでしょうか？（**今委員**）
- 令和5年度の参加人数が定員に対して半数程度ですが、もうすこし増やせないものですか。（**秋間委員**）

【意見】

- 第8期計画P. 32（4）。既存の事業を利用してじゃだめなんですか。（6）の歯科医師と理学療法士による体操の2本立てはどうなりましたか。P. 35（9）でも月に2回柔道整復師が行っています。地域にある、また、継続している既存の資源に自治体の支援を望みます。（**大塚委員**）
- 通所型サービスCについては、「卒業」後の受け皿づくりが急務であると考えます。デイサービスが受け皿の中心となるのは、もともとの制度設計の趣旨からは外れてしまうと考えていますが、現状ではデイサービス以外の「行き先」が非常に少ないのが大きな課題です。（**今委員**）
- 一方で、介護支援専門員等からは、短時間で運動機能の訓練を中心とした提供体制のデイサービス事業所が少ないとの指摘（要望）もあがっており、このような形態のデイサービスが増えることで受け皿の役割を果たしていくことも考えられます。（**今委員**）
- 現在の通所型サービスCは運動機能に着目・特化していますが、フレイル予防・介護予防の視点からは、口腔機能向上（口腔ケア）や栄養改善（指導）との組み合わせ、もしくは、口腔・栄養のメニュー化も必要ではないかと考えます（運動以前に栄養状態の改善、その前提として「食べる機能」を整えるための口腔へのアプローチは、一体的に取り組むべきではないかと考えます）。（**今委員**）

資料4 介護保険事業計画の進捗状況（計画値及び実績値）について

（ご意見をいただく視点・会議に提示する理由）

- 第8期介護保険事業計画における各介護保険事業の給付実績や認定者数などの計画値及び実績値を示しています。
- 介護保険事業の進捗状況について、ご意見等があればお聞かせください。

【質問】

- 令和4年度の利用者数で見た場合に、特定施設入居者生活介護や居宅サービスにおける医療系サービス、地域密着型通所介護の実績が、計画値をかなり上回っていますが、その理由として考えられるものはありますか？また、今後もこの傾向は続くと考えられるでしょうか？（**今委員**）
- 令和4年度の利用者数で見た場合に、住宅改修や認知症対応型通所介護の実績が、計画値をかなり下回っていますが、その理由として考えられるものはありますか？また、今後もこの傾向は続くと考えられるでしょうか？（**今委員**）
- 令和3・4年度における、新型コロナウイルス感染症の影響は、どの程度あったと考えられるでしょうか？令和5年度には変化の兆候等は見られているでしょうか？（**今委員**）
- 在宅サービスにおいては実績値が計画値を上回っていますが、今後の在宅サービスの方向性はどのように考えているのですか。（**秋間委員**）

資料5 令和5年度保険者機能強化推進交付金等に係る得点状況（市町村分）について

（ご意見をいただく視点・会議に提示する理由）

- 令和5年度の保険者機能強化推進交付金及び介護保険保険者努力支援交付金の全国平均及び多摩26市の評価結果の集計結果です。
- 評価結果を踏まえ、あきる野市の課題等なお気づきの点があれば、ご意見等をお聞かせください。

【質問】

- Ⅱ（7）「要介護状態の維持・改善の状況等」の項目が、平均値や中央値を大きく下回っていますが、その理由として考えられるものはありますか？（**今委員**）
- 勉強不足で恐縮ですが、数値の意味が良くわかりません。（**秋間委員**）